

# 令和6年度町政懇話会を開催しました

4月19日(金)に虹のプラザ「中会議室」で、令和6年度の町政についての懇話会が開催されました。  
約90人の方々に参加いただき、町政に対する意見交換を行いました。  
懇話会では、「農業の地域計画策定についてどのように考えるか?」「人口減少に伴い、各種団体の必要性を整理してほしい」「インバウンド対策にもっと力を入れるべきではないか?」「違約金事件など重要な事項については紙媒体で周知してほしい」「部活動の地域移行の進捗については?」などの意見や質問が出され、町長や教育長、担当課長が答弁を行いました。



また、「事業の実施について、若年層の意見を反映しているのか?」というご意見について庄司町長は、「かわまちづくりワークショップなどでは、20代、30代も参加し意見を出し合い、進めている。若い世代が大石田に住んで良かったと思えるような施策をみなさんと一緒に考えながら進めていきたい」と答弁していました。

関連する詳細な内容はこちら  
町政懇話会会議録 違約金事件の経過



# 大石田町子ども家庭センターを設置しました

子ども家庭センターとは?

子ども家庭センターは、町内すべての妊産婦・子ども・子育て世帯を包括的に支援することを目的とし設置しました。子育てに困難を抱える人や悩みを持つ子どもに対して、これまで以上に必要な情報を提供したり、関係機関と連携を図りながら支援を行います。

こんな悩みはありませんか?

- ・初めてのことがばかりでどうしたらいいのかわからない...
- ・子どもが泣き止まない...
- ・子どもの学習の遅れが気になる...
- ・悩みを相談できる人がいない...
- ・ひとり親世帯の制度について知りたい...



例えばこんな相談・支援を行っています

母子保健分野

- 妊娠の届出、母子健康手帳交付
- 乳幼児健康診査、予防接種
- 離乳食や歯に関する相談
- 子どもの発育・発達に関する相談

児童福祉分野

- 子どもの医療費助成の手続き
- 児童手当、児童扶養手当の手続き
- ひとり親支援に関する制度・相談
- 育児・しつけ・児童虐待・教育に関する相談・DV・女性相談

相談内容の秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

お問合せ

大石田町子ども家庭センター(保健福祉課内)  
☎35121111 内線134・137



# 5月は消費者月間です。公的な機関を名乗る電話やメールに要注意!

公的機関を名乗り、「被災地に支援物資を送るので洋服などを準備してもらえれば取りにお伺いします」などと能登半島地震の義援金や支援物資を求める不審な電話がかかってくる事案が増えています。

- ▶不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても、断ってください。万が一、金銭を要求されても、決して支払わないようにしてください。
- ▶公的機関が、各家庭に電話等で義援金を求めることはありません。公的機関を名乗って連絡があった場合には応じず、まずは当該機関に確認しましょう。また、義援金は、募っている団体等の活動状況や用途をよく確認し、納得した上で寄付しましょう。義援金を口座に振り込む場合は、振込先の名義をよく確認しましょう。
- ▶少しでも不安を感じたら、すぐにお近くの消費生活センター等(下記記載)や警察に相談してください。

誰かに相談したいと思ったら、  
**消費者ホットライン ☎【188】**

または 山形県消費生活センター TEL 023-624-0999  
もしくは 役場 総務課 TEL35-2111 (内線218) まで

# 「次世代へ虹をかける」

『感謝する心』

vol.5



深緑の季節、子どもの部活動の応援や運動会等々、週末になるとバタバタと慌ただしい生活の庄司です。子どもと一緒に、様々な行事で触れ合えるのは今だけなんだらうなと思いつつ、子どもたちの時間を大切にしています。さて、今月は「感謝する心」という話をしたいと思います。アメリカのハーバード大学で教鞭をとっていたタル・ベン・シャハー氏という方の講義の中の一つの話なのですが、とある心理学者が研究の中で被験者を2つのグループに分けて、1つのグループには「ちょっとしたことでも良いので毎日感謝できることを5つ書いてもらう」という実験をしたそうです。毎日1〜2分、感謝する時間をとったところ、考えたグループは何もしなかったグループに比べて、人生をもっと肯定的に評価で

きるようになっただけでなく、幸福感が高くなり、ポジティブな考え方に、楽観的になったそうです。また、人に対しても実験前よりも優しくできるようになり、手伝いを積極的に申し出るようになり、さらには最終的には感謝をしていた人々はよく眠れるようになり、より運動をするようになり、身体的な不調も減ったそうです。

私も「感謝する心」は大切だと日頃から考えており、「周囲に感謝する心を持ちましょう」と今春の中学校や小学校の卒業式の中でも話したのですが、子どもたちだけでなく我々大人も日頃から感謝する気持ちを持って過ごす、人生がもっと楽しく、より有意義になることを学んだ話でした。

大石田町長 庄司 中